

はじめに

～ 子育てはみんなの力で ～

本市では、子どもを育むことが楽しくなるまちを目指して、平成27年度（2015年度）から「宝塚市次世代育成支援行動計画たからっ子『育み』プラン」（宝塚市子ども・子育て支援事業計画）に基づき、子ども施策を総合的に推進しています。とりわけ、待機児童の解消をはじめとした保育施策の充実や、各地域への児童館・子ども館の整備、児童虐待の防止やいじめ等から子どもを守る施策などに重点的に取り組むとともに、平成27年度（2015年度）から始まった子ども・子育て支援新制度に基づき、様々な子育て支援サービスのニーズ量を見込み、それに見合った確保方策を計画的に推進しています。

市民を対象としたアンケート調査によると、5年前の前回調査と比べて、子育てに負担や不安を感じている人が増えており、子育てが孤立化している傾向が伺えます。また、保護者の就労状況の変化に伴い、教育・保育や子育て支援サービスへのニーズが多様化しており、それぞれの家庭の事情に応じたきめ細やかな支援が求められています。

こうした現状などを踏まえ、引き続き子ども施策を総合的に推進するため、この度「次世代育成支援行動計画たからっ子『育み』プラン」後期計画（第2期子ども・子育て支援事業計画）（母子保健計画）（子どもの貧困対策計画）を策定しました。

本計画には、前期計画の基本理念を引き継ぎつつ、課題として、様々な困難を抱える子どもや家庭への相談窓口及び切れ目のない支援体制の整備や、保育所・放課後児童クラブの待機児童の解消、いじめ・不登校・ひきこもりなどへの対応、子どもの貧困対策などの重点施策のほか、子どもたちが健やかに成長し、安心して子育てができるよう様々な施策を盛り込みました。さらに、子どもの将来が、生まれ育った環境によって左右されることのない社会を目指して、「子どもの貧困対策計画」を新たに策定し、本計画に包含しました。

まちの宝である子どもたちが、心豊かにいきいきと成長していけるよう、また、親が子育てに対する不安感や負担感を抱え込まず、安心して子どもを育めるよう、市民の皆様をはじめ、企業や関係者の方々と、より一層協働して取組を進めていく必要があります。今後とも、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、本計画の策定にあたり、貴重なご意見・ご提言を賜りました宝塚市子ども審議会の皆様をはじめ、アンケート調査やヒアリング調査、パブリックコメント等にご協力いただきました市民の皆様、関係機関・団体の皆様に、心から御礼を申し上げます。

令和2年（2020年）2月

宝塚市長

中川 智子